



子ども自身にも考えさせ 有意義な夏休みを！

校長 村山 修平

1学期間、子どもたちは、学習・生活・学校行事に真剣に取り組みました。とりわけ、今年は、みなと小学校の開校10周年にあたる記念すべき年です。みなと小プライドをもって生活を見直し、取り組んでいることも前号でお知らせした通りです。開校10周年記念の運動会や室蘭大谷高校の吹奏楽部を招いての芸術鑑賞会も実施しました。コロナ禍で中断していたため、久々に開催した開校10周年記念芸術鑑賞会は、子どもたちもノリノリで大盛況でした。運動会でおなじみだった曲を演奏してくれたことありますが、子どもたちが演奏とともに歌い出し、体を動かしてその場でダンスでもしているかのような子もたくさんいました。本当にみなと小の子どもたちは、反応が素直で心から楽しんでおり、子どもらしくて感性が豊かだと感心しました。室蘭大谷高校の吹奏楽部も演奏のし甲斐があったのではないのでしょうか。

75日間の1学期が終わり、明日から32日間の夏休みに入ります。熱中症対策のため、今までより1週間くらい長くなっています。子どもたちは、それぞれに計画を立て、この長い夏休みを楽しみにしているようです。しかし、計画はあくまでも「計画」です。「今日は〇〇だから、あした2日分やればいいや」「まだ、〇日もある」などと考え、やるべきことを先送りしてしまい、後から慌てた記憶は、多くの方がおもちでしょう。

だからといって、お家の人が毎日「宿題やったの」「早くしなさい」というのもどうでしょう？ 子どもは「言われないとやらない」受け身の子になってしまうでしょう。あるいは、「〇〇さんが言わなかったから」と、責任を家の人に転嫁してしまう子になってしまうかもしれません。

では、どうすればいいのでしょうか？ 大切なことだけを話し、あとは子ども自身に考えさせることです。取り返しの付かない失敗は、もちろんダメですが、多少の失敗は経験させることです。そして、できたときや頑張っているときには、大いに褒めることです。当然、初めから上手くはいかないでしょう。でも、そういった積み重ねが大事なのです。そして、そのチャンスがたくさんあるのが、夏休みです。大人が手を貸しすぎたり、失敗させないように一から十まで教えたり、挙げ句の果ては代わりにやってあげたりすることは、決して子どものためにはなりません。自分自身で考え、失敗しながらも工夫してやり遂げる経験が、子どもを成長させます。多少、時間はかかるかもしれませんが、大人が「やってあげたい」という気持ちを、どれだけ我慢できるかが、ポイントです。

32日間の長い夏休み、子ども自身に考えさせ、責任をもたせる機会を、ぜひつくってあげてください。今年の夏も、暑い夏が予想されます。熱中症には、十分気をつけさせてください。交通事故や水の事故、不審者等、しっかり注意して有意義な夏休みになることを願っています。始業式には一回り成長した子どもたちと、笑顔で会えることを楽しみにしています。



観客を魅了した大谷高校による演奏会

いかのおすし

4日(木)、室蘭警察署の方を講師として、全校児童がアリーナに集まり防犯教室が行われました。「不審者に会ったらどうする？」をテーマに警察署の方からの説明がありました。

後半には警察の方が不審者役になり、下校中に声を掛けられたら？を学びました。何度も学校でも家でも言われていることですが、忘れてしまいがちです。これをきっかけに、**い(か)の(お)す(し)**を思い出してほしいです。

明日より夏休みとなりますが、ご家庭でも声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。



8月の主な行事		
日	曜	(特=特別日課 変=変則日課 記載なし=普通日課)
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	室蘭子どもサミット
8	木	
9	金	
10	土	学校閉庁日
11	日	山の日 学校閉庁日
12	月	学校閉庁日
13	火	学校閉庁日
14	水	学校閉庁日
15	木	学校閉庁日
16	金	学校閉庁日
17	土	学校閉庁日
18	日	学校閉庁日
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	西部PTA 研究大会 (in 伊達市)
25	日	
26	月	
27	火	変4 2学期始業式 交通安全指導① 返本週間 (~8/30)
28	水	交通安全指導②
29	木	
30	金	
31	土	

〇〇教諭 産休のお知らせ

支援学級担任の〇〇〇〇教諭ですが、7月29日より産前休暇となり、しばらくお休みとなります。支援3・4には、〇〇〇〇教諭が担任となります。

第一回いじめアンケート

全ての児童が安全・安心して生活できるように、6月中旬にいじめアンケートを実施しました。「いやな思いをしている」や「今も嫌な思いをしている」と回答した児童一人一人に担任が耳を傾け、児童に寄り添いながら話を聞きました。その後、検討した結果、いじめとして認知したのは、みなと小では7件でした。この7件はもちろんですが、「嫌な思いをしている」、「今も嫌な思いをしている」児童を教職員で情報共有し、見守っています。

大切なのは「いじめかどうか？」ではなく、みんなが笑顔で安心して生活できるようにするためにはどうすればいいのだろうか？を子どもたちに考えさせたり、アドバイスをしたりすることです。今後とも、お子様のことでご心配なことなどがございましたら、担任などにご相談ください。

<お知らせ>

○7月1日(月)よりテトルを利用したのメール配信がはじまりました。テトルでの欠席連絡の際には、詳しく記入していただき、誠にありがとうございます。夏休み中も必要な情報を配信していきますので、どうぞご覧ください。

○各町内会で毎年恒例のラジオ体操が行われます。詳細については、各町内会でご確認ください。

◎明日より長い夏休みがはじまります。自主的に学習を身に付けるには、絶好のチャンスです。また、家庭の一員としての自覚と責任を育むような役割をお子様と相談して与えてください。学習と生活を充実させることで、学校生活では身に付けられない生きる力が育まれるはず。そして、何より安全に気を付けて生活してください。危険な自転車運転をしている児童をたくさん見かけます。よく遊び、よく学び、一回り成長して2学期に登校してください。